

遠軽地区広域組合内救急研修会(周産期講習)を開催しました

令和7年6月6日(金)、遠軽町の保健福祉総合センターげんき21において、「令和7年遠軽地区広域組合内救急研修会(周産期講習)」を開催しました。本研修は、救急救命士の現場における周産期(分娩や新生児対応)に対する不安や苦手意識を払拭しより高度かつ実践的な対応力を養うことを目的として実施されたものです。

当日は、組合内の救急隊員が参加して旭川医科大学病院の医師やJA北海道厚生連 帯広厚生病院の助産師など、計7名の専門講師をお招きし、救急搬送中に分娩が必要となった場合の対応や新生児の蘇生技術などについて、シミュレーションモデル(模型)を用いた実践訓練を行いました。また、狭い救急車内を想定した動き方や連携の取り方についても、現場さながらの実習が行われ、救急隊員は熱心に取り組みました。

今後も、今回の研修で得た知識と技術を活かし、地域の皆さまの命を守る救急活動に努めてまいります。

